

松岡中 学校評価総合シート(1学期)集計結果

項目	重点目標	具体的取り組み	評価の観点・目標指数	判断規準	判定基準	回答者	集計	判定	
学習指導	確かな学力と強靱な体力	①すべての生徒にとって、わかりやすく達成感を味わえる授業をする。	わかりやすい授業をして生徒に達成感を与える。	私は授業するにあたり A 毎時間わかりやすい授業をして生徒に達成感を与える努力をした。 B だいたいわかりやすい授業ができた。 C 時々わかりやすくできなかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 2 B 16 C 0	100% ◎	
			生徒にとってわかりやすい授業であったか。	あなた達にとって先生たちの授業は A いつもわかりやすく教えてくれる。 B 時々工夫してわかりやすくしてくれる。 C あまりわかりやすいとは言えない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 188 B 107 C 4	99% ◎	
			子どもは授業を理解できていると思うか。	あなたのお子さんは授業の内容について A 十分理解できていると思う。 B だいたい理解していると思う。 C 理解できていないところが多いと思う。 D よくわからない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	保護者	A 29 B 156 C 95 D 5	66% △	
		②単元テストで基礎基本の定着度を評価する。	評価規準を意識しながら問題作りをした。	私は単元テスト作成に際し評価規準を A 毎回意識して作成した。 B 出来るだけ評価規準に即して作成した。 C あまり意識しなかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 12 B 5 C 0	100% ◎	
			単元テストに向けて努力してテストに臨んだ。	あなたは単元テストの時には A 全力でテストに向けて勉強した。 B だいたい復習してテストに臨んだ。 C あまり復習せずにテストに臨んでしまった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 99 B 177 C 23	92% ◎	
			単元テストに向けてお子さんは努力をしていましたか。	あなたのお子さんは単元テストに向けて A 全力でテストに向けて勉強した。 B だいたい復習してテストに臨んだ。 C あまり復習せずにテストに臨んでいた。 D よくわからない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	保護者	A 44 B 140 C 92 D 9	67% △	
	③学習しやすい環境づくりをする。	生徒にとって学習しやすい学校・教室	松岡中学校は生徒にとって学習しやすい環境として A よく整った学校である。 B どちらかというと整っている。 C あまり整っているとは言えない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 134 B 135 C 28	91% ◎		
		親の目から見た学習しやすい環境づくり	保護者の目から見て、松岡中学校は生徒にとって学習しやすい環境として A よく整った学校である。 B どちらかというと整っている。 C あまり整っているとは言えない。 D よくわからない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	保護者	A 92 B 159 C 13 D 20	95% ◎		
	生徒指導	豊かな人間性の育成	④意識を高く持って、明るい挨拶と正しい言葉遣いが出来る生徒を育成する	明るい挨拶と正しい言葉遣いが出来る生徒を育成する	生徒が先生に対して正しくない言葉遣いをしていたとき A 必ず注意して正しい言葉遣いを教えた。 B 時々正しい言葉遣いを教えた。 C たまにしか言い直しをさせなかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 13 B 5 C 0	100% ◎
				明るい挨拶と正しい言葉遣いが出来る生徒を育成する	あなたは先生に対して A 正しい言葉遣いが出来ている。 B だいたい正しい言葉遣いが出来ていると思う。 C たまにしか正しい言葉遣いが出来ていない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 172 B 122 C 5	98% ◎
				明るい挨拶と正しい言葉遣いの出来る生徒に育てる。	親の目から見て生徒は先生に対して A 正しい言葉遣いが出来ている。 B だいたい正しい言葉遣いが出来ていると思う。 C たまにしか正しい言葉遣いが出来ていない。 D よくわからない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	保護者	A 45 B 184 C 26 D 29	90% ◎
			⑤思いやりと温かい人間関係に包まれた学校づくりに磨きをかける。	生徒に言葉がけをし、生徒の良さに気づく教師を目指す。	私は生徒たちとの接し方に置いて A 常に言葉がけに気をつけ、生徒理解に努めた。 B 時々言葉をかけ、生徒理解を深めたと思う。 C ほとんど生徒への言葉がけができなかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 11 B 7 C 0	100% ◎
先生とよく話し、自分を表現する生徒になる				先生たちはあなたに対して A 良く話しかけてくれる。 B 時々話しかけてくれる。 C たまにしか話しかけてくれない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 90 B 184 C 24	92% ◎	
先生とよく話し、自分を表現する生徒になる				松岡中の教職員はあなたのお子さんに対して A 良く話しかけてくれる。 B 時々話しかけてくれる。 C たまにしか話しかけてくれない。 D よくわからない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	保護者	A 77 B 117 C 24 D 67	89% ○	
健康で安全な生活のために		⑥思いやりと温かい人間関係に包まれた学校づくりに磨きをかける。	自分の学年、自分のクラスだけに留まらず、全職員で学校全体の生徒を育成する。	私は生徒指導に際し、 A どの学年のどのクラスの生徒であろうと分け隔てなく公平な目で指導している。 B 他学年の生徒であろうと出来るだけ公平に見て指導しているつもりである C 他学年の生徒に対してはついつい甘くなってしまふところがある。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 13 B 5 C 0	100% ◎	
			自分の学年、自分のクラスだけに留まらず、全職員で学校全体の生徒を育成する。	あなたが良くない行動を取ったとき、 A どの先生も公平な立場で叱ってくれる。 B だいたいどんな先生も公平である。 C 他学年の先生はあまり注意してくれない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 159 B 134 C 6	98% ◎	
		⑦スポーツや文化活動を通して、豊かな心と逞しい体力、高め合う集団作りに努める。	部活動を通して、生徒の心身の成長と高め合う集団作りに努める。	私は部活動を通して、この目的に A 努めて日々の指導に積極的に関わった。 B 比較的良好関わった方だと思う。 C あまり意識しなかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 7 B 10 C 0	100% ◎	
部活動に対して目標を持って意欲的に取り組んでいる。			あなたは部活動に対して A 目標を持って大いにがんばっている。 B がんばっているほうだと思う。 C あまり意欲的ではなく、仕方なく活動している。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 202 B 86 C 10	97% ◎		
			部活動に対して目標を持って意欲的に取り組んでいる。	あなたのお子さんは部活動に A 目標を持って大いにがんばっている。 B よくがんばっている方だと思う。 C あまり意欲的ではないように感じる。 D よくわからない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	保護者	A 117 B 143 C 19 D 7	93% ◎	

進路指導	キャリア教育を推進する	⑧一人一人の生徒に丁寧に向き合い、現状の把握と将来の方向性を話し合うことで、将来への意欲や希望を持てるようにする。	一人一人の進路について親身になって話を聞き、学習への意欲にまで引き上げる指導を行う。	個別面談で一人一人の生徒の進路について A 話を聞き、学習への意欲に結びつけた。 B 話を聞いたが、全員の学習意欲までは結びつかなかった。 C 全員に話を聞くところまではいけなかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 5 B 8 C 1	93% ◎
			進路についての話し合いで先生に親身に聞いてもらう。	先生との個人面談では A 親身になって話を聞いてもらい学校生活への意欲が高まった。 B 親身に話しを聞いてもらったが、意欲の向上まではいかなかった。 C あまり真剣に聞いてもらえず、残念だった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 170 B 125 C 4	99% ◎
信頼される学校作り	積極的に学校の情報を発信する	⑨開かれた学校づくりを進め、各種たよりで学校の様子を伝え、共感と協力を得る。	開かれた学校づくりのために各種のたよりを発行する。	私は学校の様子を保護者に伝えるために、各種たよりを A 月1回以上書いている。 B 数人で協力して月1回のペースで書いている。 C 数ヶ月に1回のペースになってしまう。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 6 B 8 C 2	88% ○
			各種たよりをもらったときは必ず保護者に出す。	あなたは学校で学年便りや学級たよりなどをもらったら A 必ずその日に保護者に出している。 B 遅れることもあるが必ず親に渡している。 C カバンの中に入れてままになることもある。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 124 B 152 C 22	93% ◎
		学校便りや学年たよりなどで学校の様子が分かった。	学校で発行されるお便りは A 中身が充実していて学校の様子がよく分かる。 B 少ない学校の様子が分かる。 C 頻度が少なかつ中身が希薄でよく分からない。 D よくわからない。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	保護者	A 67 B 205 C 7 D 6	97% ◎	
		⑩行事等に來ていただくことで、学校と保護者の緊密な関係を築き、信頼を得る。	学校と保護者の関係を密にする努力をする。	私は保護者とのつながりを深くするために努力したが A 大変緊密な関係の構築に成功した。 B だいたい保護者からご理解を得ていると思う。 C あまり保護者の理解は得られなかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 1 B 17 C 0	100% ◎
未来に生きる力の育成	各経での「未来に生きる力」を育成し、自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を高める。	⑪教科、道徳、学活、委員会で話し合い活動の場を多く設定し、学力にまで高めて定着させる。	どんな授業でも話し合い活動を設定して、話し合い能力を育成する。	私は教科の授業でも道徳学活でも生徒の話し合い活動を A 積極的に取り入れ、話し合い能力を高めた。 B 時々取り入れた。 C あまり取り入れることが出来なかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	教職員	A 2 B 15 C 1	94% ◎
			話し合い活動を重ねることで、話し合いになれて、話し合い能力が身につく。	教科の授業や道徳学活などで、 A 毎時間のように話し合い活動を行った。 B 時々話し合うことがあった。 C あまり話し合いの時間はなかった。	A, B合わせて70%未満なら実施方法の再検討	生徒	A 127 B 161 C 11	96% ◎

保護者からのコメント	(平成23年度 1学期)
○ 帰りの自転車の乗り方が悪い。2〜3人走行はあたりまえ。帰る道順もいいかげん。ななめ横断、無理な追い越し、危ない場面を何度もみている。(3年)	
○ 正直分からないことが多いのですが、2〜3ヶ月に半日程度でいいので、保護者の自由参観日を設けてはどうでしょうか(1年)	
○ 母親部主催のリサイクル市の日時を検討してほしい。動いているものは、教育相談会の時間に合わせ1〜2時間休みをもらってきているので、リサイクル開始から20分程度で売切れてしまうのでは保護者の立場に立ったりリサイクル市ではないと思うのですが…(1年)	
○ 男の子なので学校のことはあまり自分から話さないため、わからないことも多いが、なるべくこちらから聞くようにしています。	
○ 先生方、あきらめずに子供を導いてほしいと願います。たとえ、今はなかなか響いてくれなくても、お世話になったことをわかってくれる日が来ると思っています。(3年)	
○ お手数をおかけすることが多く申し訳ないと思っています。宿題や提出物などでできていないことが多いのですが、本人に聞いてもいわないので、何度でも教えていただけると助かります。宜しくお願いします。(3年)	
○ ①⑤⑥の質問は保護者には答えられない質問だと思います。(3年)	
○ ①の問いで「理解できていないところがある」として「BC」とつけていた解答があった。(2年)	
○ 直接先生とどのような関係にあるのかは分かりにくいですが、生徒は日々頑張っているようです。今後もよろしくお願いします。(2年)	
○ お勉強できない子の授業をもう少し気にかけてほしい。できる子に力を入れても、できない子は分からないまま終わって、次の授業ではできないままです。(2年)	
○ 部活動の土日の活動が少なく、休みのたびに「暇や暇や」と言っています。もう少し回数があるといいです。(1年)	